



森港長期ビジョン策定

令和8年度

第1回 森町港湾審議会

目次

<「森港長期ビジョン」の策定に向けて>

1. 森港長期ビジョン策定の目的
2. 策定に向けた検討スケジュール等
3. 検討の方向性
 - (1) 森町の現状と特徴
 - (2) 既往資料による森港の問題点・課題
 - (3) 森港に期待される展開の可能性
4. 意見交換
5. 今後の対応
6. 参考資料

1. 森港長期ビジョン 策定の目的



1. 森港長期ビジョン策定の目的

北海道森港は、北海道渡島半島の東側中央部・内浦湾の南部に位置し、水産業の拠点として、また周辺港湾・漁港・市町村内整備における建設資材の陸揚港として、地域産業の重要な役割を担う地方港湾です。

森港の振興計画は、平成9年度に「森港長期構想」を策定し現在に至っています。この間、港湾内の狭隘化や施設の老朽化などの解消に向け整備を進めてきましたが、近年、森町や港を取り巻く社会情勢の変化により、駒ヶ岳噴火災害に対応した施設整備、ホタテガイ輸出に対応した出荷体制の確保、みなとを核とした観光振興やカーボンニュートラルの推進といった多岐にわたる機能が求められています。

このようなことから、森港の将来あるべき姿と目指す方向性を定め港湾機能の強化・発展を図るとともに“みなとを活用するまちづくりビジョン”として港湾整備と連携した地域産業振興を推進すべく、新たな「北海道森港 長期ビジョン」を策定することとしました。



今後、森港を整備していくうえでの基本的な考え方としては、地方港湾という港格であることから、単に港だけの整備を行っていくのではなく、町づくりと一体であることを意識して進めていくことが重要である。これまでに整理してきた現状での問題点や意見・要望、まちづくりの方向性や森港の役割を踏まえ、それらから導き出される主要課題を考慮し、森港整備の基本方向を以下のとおり設定した。

【問題点・意見・要望】

森町の現状と問題点

- ・人口の過疎化
- ・高齢化への移行
- ・地場産業の伸び悩み
- ・購買力の町外流出
- ・就労の場の停滞

森港の現状と問題点

- ・港内の狭隘
- ・けい留施設の不足
- ・用地の不足
- ・うねりによる港内の擾乱
- ・航路の不明確さ
- ・災害時にも対応できる施設整備

漁業者からの意見・要望

- ・港内の狭隘の解消
- ・港内の静穏性の確保
- ・漁船の大型化に対応した施設整備
- ・漁業活動を十分に考慮した施設整備
- ・水中荷捌施設の整備

地域住民からの意見・要望

- ・港の有効活用
- ・安心して遊べる海浜空間の確保
- ・海洋レジャー空間の確保
- ・子供達の学習の場としての利用
- ・駒ヶ岳噴火災害に対応した港の整備

企業からの意見・要望

- ・物流機能の促進
- ・大型岸壁の整備
- ・安全な航路確保
- ・利用船舶の適正な配置
- ・森蘭航路の復活
- ・記念碑周辺の憩いの場としての利用
- ・町や港の活性化

【まちづくりの方向性】

- ① さわやか・森——自然・共生のまちづくり
- ② はつらつ・森——産業・発展のまちづくり
- ③ のびやか・森——文化・交流のまちづくり
- ④ ぬくもり・森——福祉・連帯のまちづくり
- ⑤ うるおい・森——環境・快適のまちづくり
- ⑥ ひろがり・森——基盤・充実のまちづくり
- ⑦ ふれあい・森——町民・参加のまちづくり

<港湾>

- ・物流機能、防災機能、親水機能の確保

<防災>

- ・災害に強いまちづくり、噴火災害に対応できる港湾整備

<漁業、水産加工業、工業>

- ・「水産のまち」「ホタテの町」としての発展

<観光・レクリエーション>

- ・産業間連携による「体験と食」が楽しめるまちづくり

<その他>

- ・自然環境の保全、魅力的な景観形成など

【森港の果たすべき役割】

- ① 地域の物流需要を支える流通拠点
 - ・企業育成の土壌づくり、近隣上位港湾との連携
- ② 地場産業の振興に寄与する漁業根拠港
 - ・「活気ある漁業・水産加工のまちづくり」の拠点
- ③ 憩いの場を提供する海洋レク空間
 - ・人々の憩いの場、体験観光の場
- ④ 駒ヶ岳災害の防災拠点
 - ・住民の緊急避難、救援物資等の搬入拠点

【森港の主要課題】

駒ヶ岳噴火災害への港湾の対応

災害時における緊急物資輸送や救援要員受入の拠点として対応可能な港湾整備が必要である。

地域の物流輸送に対応できる港の整備

物流機能を十分に発揮し、地域経済に貢献できる港湾施設の整備が必要である。

基幹産業の振興に資する港の整備

町の基幹産業のひとつである水産業振興のため、効率的で利便性の高い施設整備が必要である。

港内静穏度の確保と港口配置

利用船舶が安心して使える港とするため、開口部の検討または進入波対策を講じ、静穏度の向上を図ることが必要である。

地域のレクリエーション需要に対応した海域の利用

地域住民が安心して遊び学べ、気軽に訪れることのできる海浜空間の整備が必要である。

利用船舶のけい留施設不足

漁船、貨物船、作業船などのけい留施設の充実と各船舶の利用に応じた適正な配置計画が必要である。

【森港整備の基本方向】

地場産業を支え地域活性化を促すみなとづくり

——産業振興——

地域の物流需要に応えるとともに、町の基幹産業である漁業活動を支え、地場産業の振興や地域の活性化を促す物流・水産拠点としての機能の拡充・強化を目指す。

災害時に迅速に対応し安心した暮らしを守るみなとづくり

——防災支援——

安全な港湾活動に対する港内静穏度の確保とともに、駒ヶ岳噴火災害に対する意識を高め被災時における緊急物資や救援要員などの輸送基地的役割も担う防災拠点としての機能の充実・強化を目指す。

人と自然と歴史の調和のとれた潤いあるみなとづくり

——交流促進——

噴火湾、駒ヶ岳等の恵まれた自然条件や歴史的文化資源を活かし、地域住民同士や来訪者とのふれあい・交流を促す、潤いある交流拠点空間づくりを目指す。

2. 策定に向けた 検討スケジュール等



2. 策定に向けた検討スケジュール等

＜森港長期ビジョンの策定に向けた検討スケジュール＞

長期ビジョン策定業務	令和8年度																																
	6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
計 画 準 備	■																																
現 地 ヒ ア リ ン グ 実 施				■																													
現 状 分 析 及 び 課 題 の 整 理	■																																
計 画 の 検 討							■																										
森 町 港 湾 審 議 会 (準 備 ・ 開 催)	■																	■							■								
				●															●							●							
地 港 審 調 整				■													■							■			■						
パブリックコメント対応																								■									

※地港審はそれぞれ以下の内容を主題として実施を予定

- ・1回目：現状の課題分析、森港が今後取り組むべき主要分野の提示
- ・2回目：課題に対する対応策と必要機能のゾーニング、整備施設案の規模と配置案の提示
- ・3回目：短期・中期・長期(20年後)の各構想図と整備内容

※現地ヒアリングは、町内の主要団体・企業を中心に10箇所程度を予定

- ・森港に係る問題点・課題の確認、港湾の将来展開・地域振興に対するご意見・ご意向などを調査

２．策定に向けた検討スケジュール等

＜森港長期ビジョンの策定に向けたヒアリング調査箇所一覧（予定）＞

	分類		調査先名／所在・連絡先	相手先	実施時期
1	総合		森町 （北海道茅部郡森町字御幸町144番地 1、TEL：01374-2-2181（代表））	森町 町長：岡嶋 康輔氏	8月下旬実施予定
2	水産	漁業	森漁業協同組合 （北海道茅部郡森町字港町40番地21、TEL：01374-2-2222）	代表理事組合長：木村 俊広氏 専務理事：東谷 秀幸氏	8月上～下旬実施予定
3		加工	森水産加工業協同組合 （北海道茅部郡森町字港町埋立地、TEL：01374-2-2159）	代表理事組合長：佐藤 善高氏	〃
4	観光	建設	株式会社河野組 （北海道茅部郡森町字森川町280番地18、TEL：01374-2-2501）	代表取締役：河野 昭久氏	〃
5		商業	森観光協会 （北海道茅部郡森町字御幸町144-1、TEL：01374-7-1286）	事務局長：日影館 隼平氏	〃
6			森商工会議所 （北海道茅部郡森町字本町6-22、TEL：01374-2-2432）	会頭：佐藤 重人氏	〃
7			森青年会議所 （北海道茅部郡森町字本町6-22 森商工会議所内、TEL：01374-2-2432）	理事長：吉田 靖明氏	〃
8		地域振興	森町 商工労働観光課 （北海道茅部郡森町字御幸町144番地 1、TEL：01374-7-1284）	課長：白石 秀之氏	9月上旬実施予定
9	防災	地域防災	森町 防災交通課 （北海道茅部郡森町字御幸町144番地 1、TEL：01374-7-1282）	課長：阿部 泰之氏	〃

3. 検討の方向性



3. 検討の方向性

(1) 森町の現状と特徴

地理的条件

- ▽まちの背後には「秀峰駒ヶ岳」が立地
- ▽内浦湾の対岸に位置する「室蘭市」までの海上距離は約50km
- ▽内浦湾の町内沿岸約30kmには、森港のほか第3種漁港1港、第1種漁港5港が立地

交通環境

- ▽函館空港・JR森駅・森ICに加え、北海道新幹線「新函館北斗駅」の全てが50km圏内
- ▽道南の拠点「函館市」へのアクセスは、国道5号線を経由し約50分
- ▽森港の背後には住宅や水産加工場が密集し、中心市街地からは車両移動が必要

社会条件

- ▽少子化・高齢化の進展、若年層の町外転出は増加傾向
- ▽既存の産業以外での就労・雇用の場の停滞
- ▽自治体主導の国際連携として、町内には数百名規模の外国人材が在籍

地域産業

- ▽水産業と農業の1次産業、食料品製造業を主とする2次産業が産業の柱
- ▽ホタテガイ養殖を主とした漁業及び水産加工業が町の経済をけん引
- ▽森港は、北海道新幹線の関連工事現場に近接する港湾として建設資材を受入れ

観光・資源

- ▽噴火湾、駒ヶ岳のほか大沼公園等の恵まれた自然環境は重要な観光スポット
- ▽公園や国道などに植えられた17種1,000本を超える桜は、森町が誇る観光資源
- ▽駒ヶ岳山麓で育つ山の幸、噴火湾で採れる四季折々の海の幸は森町の魅力

3. 検討の方向性

(2) 既往資料による森港の問題点・課題

漁業活動に係る問題点・課題

- 衛生的な漁獲物集・出荷体制の不足
- 人口減少と労働力の不足
- デジタル社会やスマート水産業への対応
- 持続可能な「つくり育てる漁業」の推進

経済活動・物流に係る問題点・課題

- 一時的需要への依存と需要減少の懸念
- 物流エリアの適性な確保
- 森蘭航路事業の停滞(コロナ禍以降)
- 水産物輸出促進に向けた交通環境活用

港湾施設・環境に係る問題点・課題

- 港湾インフラの老朽化進展
- 港湾施設用地の未利用
- 駒ヶ岳噴火リスクに対する強靱化の推進
- 気候変動の顕在化と港湾施設への適用

周辺利用・観光に係る問題点・課題

- 市街地と離れた港湾立地
- 地元特産品を活かした商品開発
- 「桜のテーマパーク」としての知名度向上
- 住民・外国人労働者・来訪者の交流促進

3. 検討の方向性

(3) 森港に期待される展開の可能性



基幹産業の力を高め、次世代へ向け持続的な発展を目指すみなと

- 水産物取扱環境における衛生管理対策の推進
- 水産加工品のブランド化と推進
- 港湾空間と環境特性を活かした自然エネルギーの活用



複合災害にも対応した安全・安心な暮らしを守るみなと

- 駒ヶ岳噴火、津波や地震など自然災害に対応した港湾施設の整備
- 港湾施設の老朽化対策
- 将来的な気候変動に対応した港湾施設の改良



地域資源・伝統を活かしながら広域観光・国際観光を推進するみなと

- 町内の観光・交流資源を広く情報発信する観光コンテンツの創出
- 森蘭航路を活用した広域的な交流観光の推進
- 外国人観光客や地域の外国人労働者も楽しめる交流拠点の整備



地域の物流需要を支え産業振興に寄与するみなと

- 噴火湾唯一の港湾として道南における様々な貨物需要への対応
- マルチアクセスな好立地を生かした水産物輸出の強化

4.意見交換



4. 意見交換

先の説明内容を踏まえ、以下について意見交換をお願い致します。

◆検討スケジュール等に関するご意見

- ✓ 森町港湾審議会の開催時期及び審議内容について
- ✓ ヒアリング調査箇所について

◆森港の問題点・課題に対するご意見

- ✓ 現状の問題点・課題に関する追加・補足事項などについて

◆森港に期待する展開の内容に対するご意見

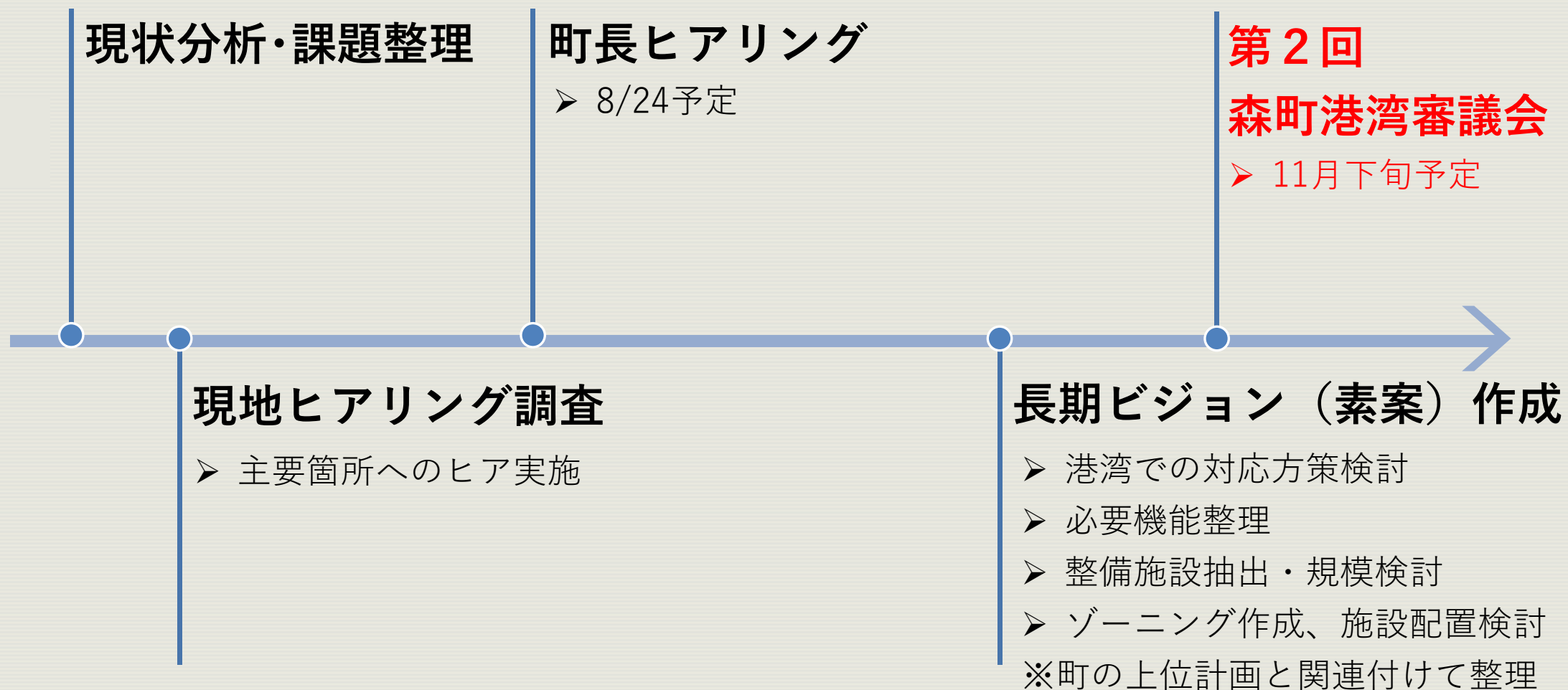
- ✓ 森港に期待する展開・方向性に対するご意見等について

5. 今後の対応



5. 今後の対応

次回港湾審議会（第2回）までの予定



6. 参考資料

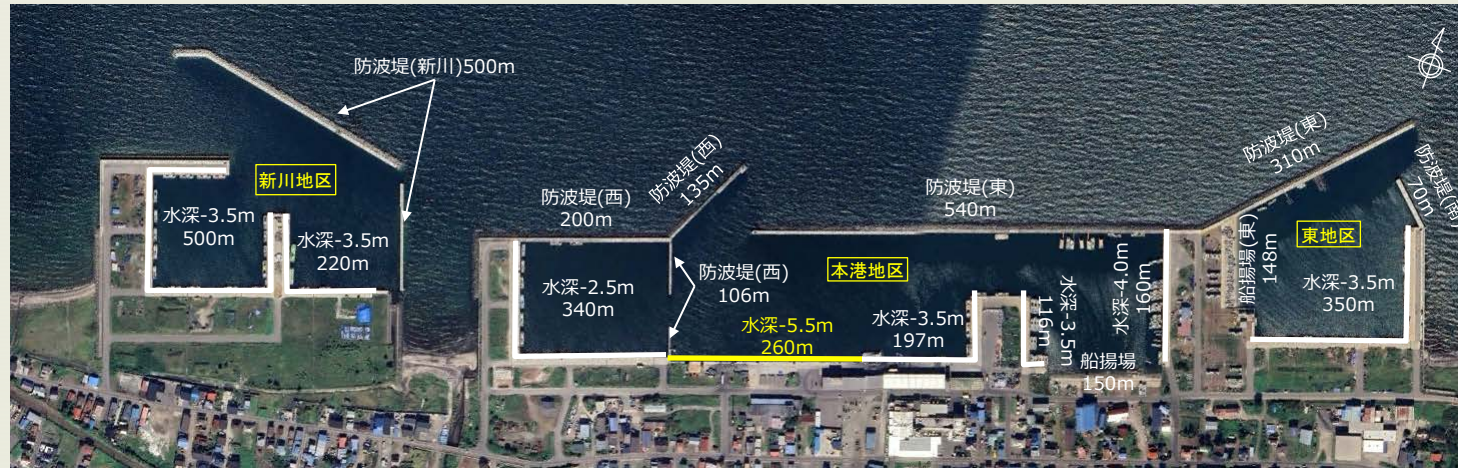


9. 参考資料

(1) 森港の概要と自然条件

●主要施設の現況

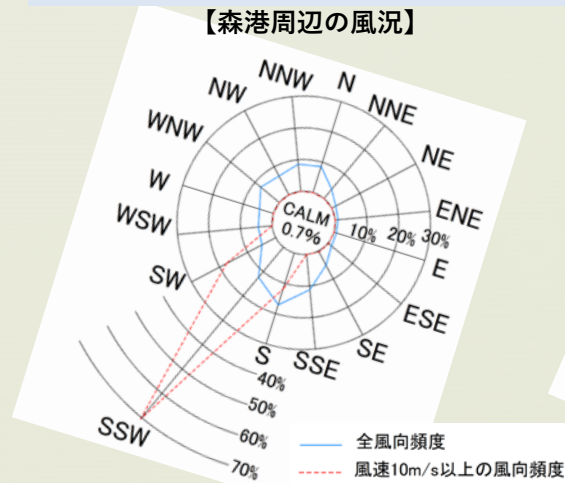
森港の主要外郭施設及び係留施設の現況



- ・岸壁最大水深:
-5.5m (延長260m)
- ・その他漁船係留の
ため-2.5m ~ -4.0m 物
揚場(延長1,883m)を有
する

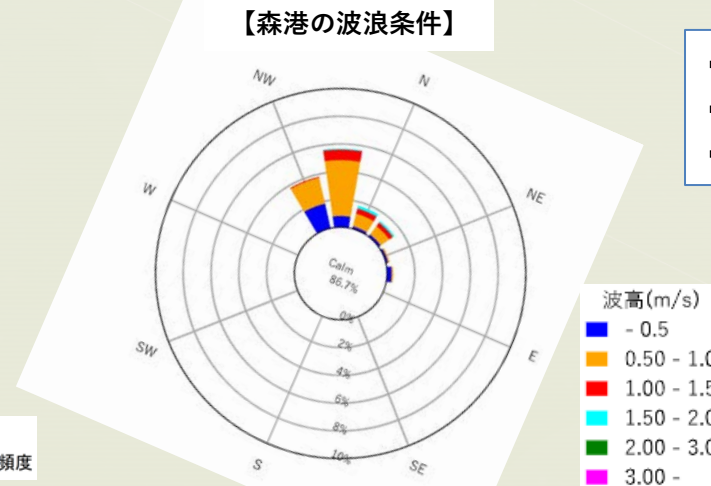
●風況・波浪条件

【森港周辺の風況】



風配頻度図 集計期間：R3.1.1～R7.12.31
出所) アメダスデータより作成

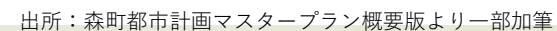
【森港の波浪条件】



波高出現頻度図 調査期間：H6.1.1～H10.12.31
出所) 北海道開発局

- ・卓越風向はSSW(南南西)とS(南)
- ・波浪はNNW(北北西)方向が約6%と最多
- ・波高0.4m以下の静穏な状況は約87%

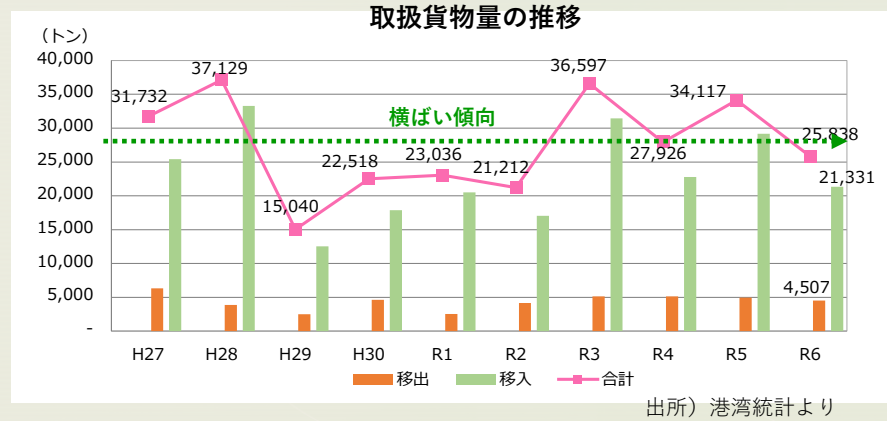
将来都市構造図（全体構想）



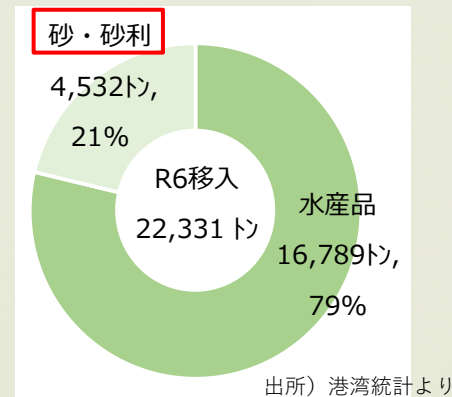
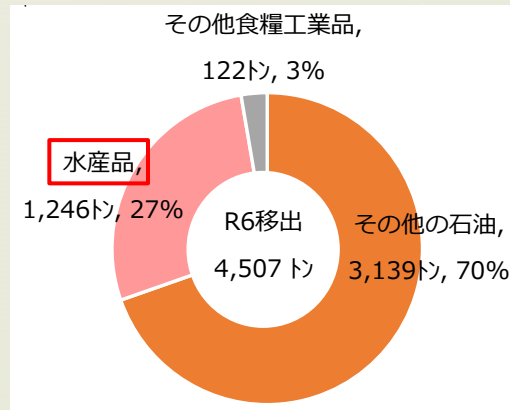
地方港湾の森港は森町都市計画マスタープランにおいて物流拠点として位置づけられ、その背後は水産加工場が多く立地し、産業・工業ゾーンとしての展開が位置づけられている。

(3) 森港の利用状況（貨物、入港船舶）

●取扱貨物量の推移と品目別内訳

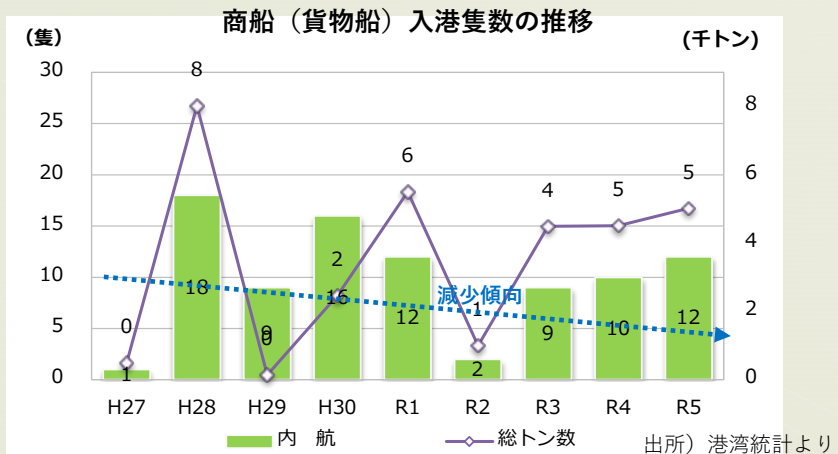
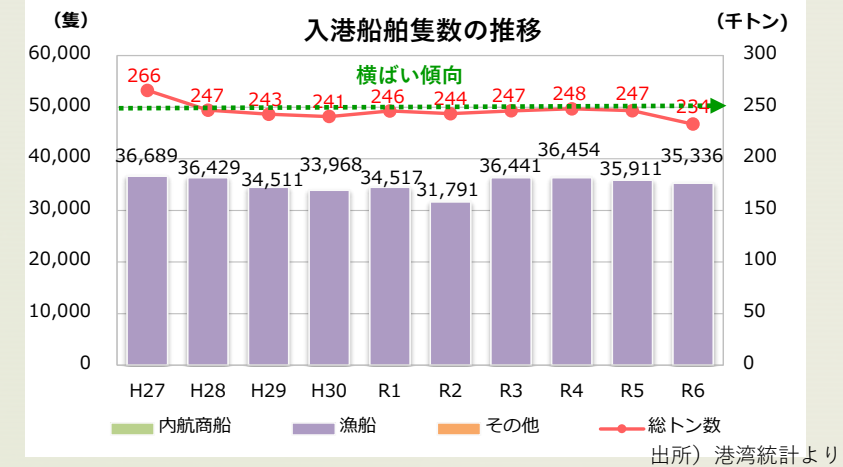


取扱貨物の品目別内訳 (R6)



移入貨物の大部分は、周辺海域で漁獲される水産品の陸揚げ港としての利用が占めている。移出では漁船燃料として、その他石油が大半を占めているが、10年前以前より鹿児島県谷山港に向けて、水産品の移出が継続されている。

●船舶の利用状況



入港船舶隻数の大部分を占める漁船は横ばいで推移している。。一方、貨物船の入港は砂・砂利等の移入貨物の減少に伴い、入港隻数は減少傾向にある。

(4) 森町地域防災計画における輸送計画の方針

森町地域防災計画では、地震や津波、駒ヶ岳噴火災害など、大規模災害時における応急対策のための輸送を迅速かつ的確に行うため、主要交通の強化やそのための輸送計画を定めており、地方港湾森港と第3種砂原漁港が海上輸送の拠点港となっている。

なお、森港の係留施設の最大水深は-5.5m、延長260m、砂原漁港の係留施設の最大水深は-5.0m、延長100mとなっている。

森町地域防災計画
＜一般災害対策編＞

第5章、第16節、4海上輸送

漁業協同組合等の協力並びに漁船の借上げをするほか、災害の規模に応じ、第一管区海上保安本部、自衛隊等の協力を得て輸送を行う。また、室蘭港浮体式防災施設の活用等による海上輸送の手段も検討する。なお、海上輸送の拠点港として、地方港湾森港とともに、砂原漁港(第三種漁港)の有効利活用を推進する。

＜地震・津波災害対策編＞

第2章、第2節、3主要交通の強化

町は、防災関係機関等の協力を得て、道路、橋梁、港湾等の基幹的な交通施設等の整備に当たって、耐震性の強化や多重性・代替性を考慮した耐震設計やネットワークの充実に努める。

出所) 森町地域防災計画より

●災害時の支援船として森港に入港可能な船舶（海上保安庁巡視船）

管轄	船名	総トン数 (GT)	船長 (m)	船幅 (m)	深さ (m)	吃水 (m)
函館海上保安部	つがる	3,221	105.4	14.6	8.0	4.75
	えさん	1,700	96.6	11.5	5.2	—
小樽海上保安部	しれとこ	980	78.0	9.6	5.3	3.40
	そうや	3,139	98.6	15.6	8.0	5.20
釧路海上保安部	えりも	1,268	91.5	11.0	6.4	4.23
稚内海上保安部	りしり	1,700	96.6	11.5	5.2	—
紋別海上本部	だいせつ	1,300	89.0	11.0	5.0	—



巡視船 つがる (船長105.4m、吃水4.75m)

●室蘭港浮体式防災施設主要目（防災フロート）

構造	鋼製二層デッキ構造 ・上甲板:1,000トン級貨物船等の着舷に対応 ・第2甲板:3トン級漁船等の着舷に対応
主要目	・全長 80.0m ・全幅 24.0m ・高さ 4.0m ・吃水 約0.7m ・総トン数 約1,745トン ・載貨重量 約800トン ・総重量 約1,300トン
用途	広域防災フロート ・有珠山、北海道駒ヶ岳等噴火湾を含む活火山が噴火した場合の緊急避難場所



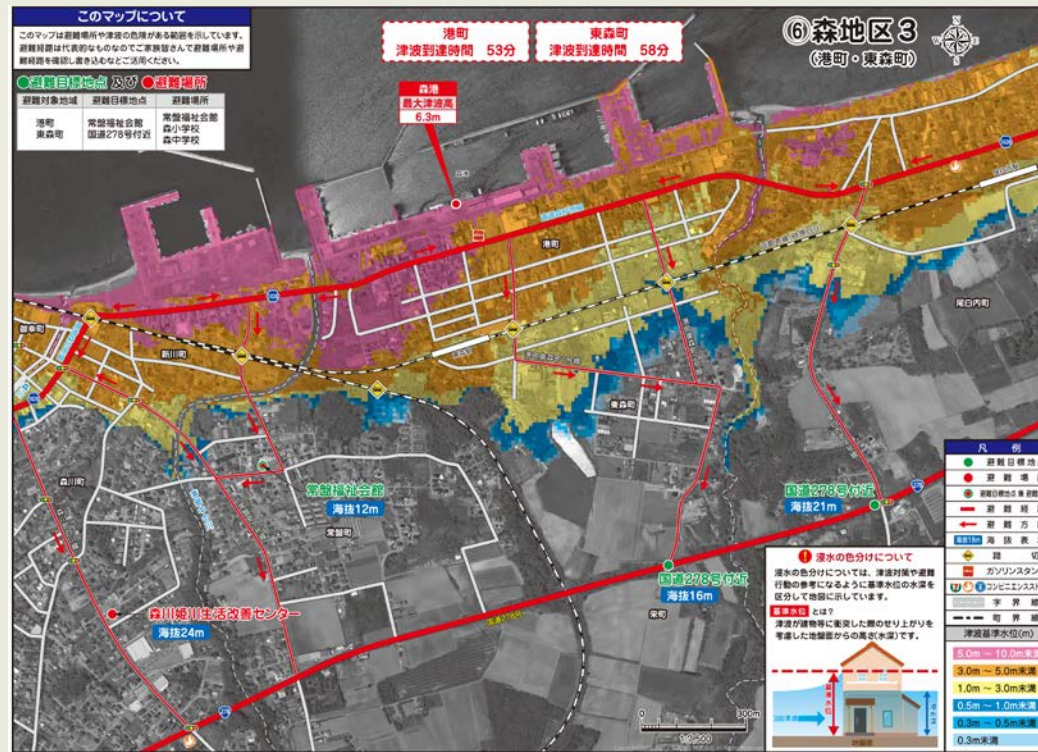
室蘭港浮体式防災施設(船長80.0m、吃水0.7m)

出所) 財団法人日本船舶技術研究所資料より

写真) 北海道開発局より

（５）津波・噴火災害の想定域

●森港周辺津波ハザードマップ

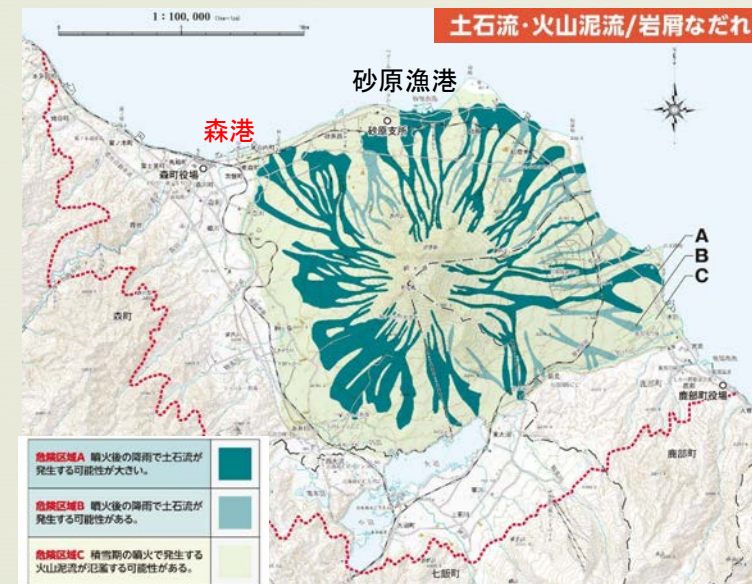
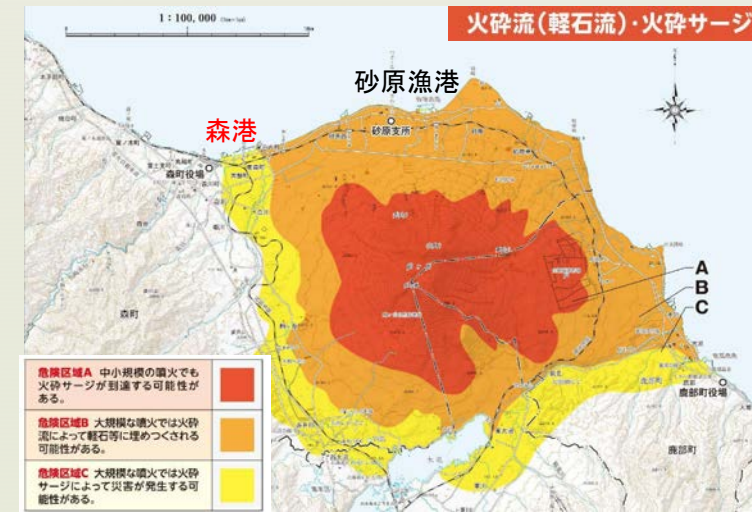


出所：森町津波ハザードマップ2022年保存版

●津波ハザードマップによると、森地区港町への津波到達時間は53分、東森町への津波到達時間は58分、森港内で発生する最大津波高は6.3mとなっている。

●駒ヶ岳火災防災ハンドブックによると、森港周辺の火砕流・火砕サージの危険度は、大規模な噴火では火砕サージによって災害が発生する可能性がある**危険区域C**、土石流・火山泥流危険度は積雪期の噴火で発生する火山泥流が氾濫する可能性がある**危険区域C**となっている。

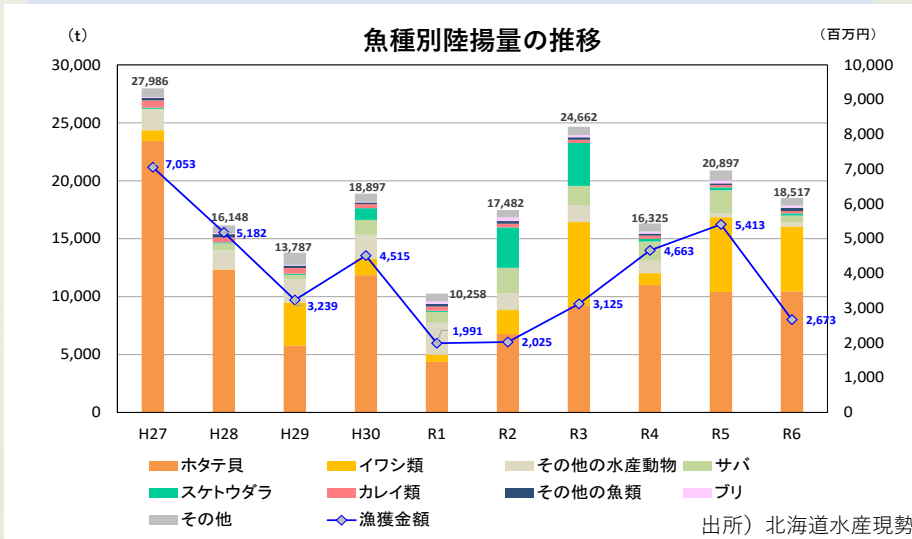
●北海道駒ヶ岳火山防災ハンドブック



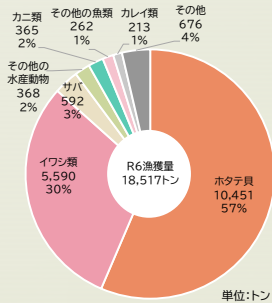
出所：保存版北海道駒ヶ岳火山防災ハンドブックより一部加筆

(6) 森町の水産業の概況

●漁業の概況

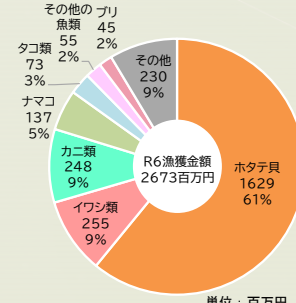


魚種別陸揚量 (R6)



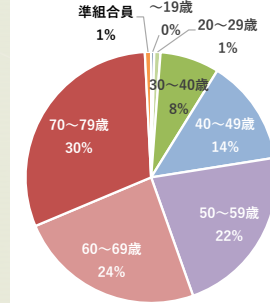
出所) 北海道水産現勢

魚種別陸揚金額 (R6)



出所) 森漁協提供資料

森漁協組合員年齢構成 (R6)



森町周辺海域お魚カレンダー

地域	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
鹿部町～森町～長万部町	ホッキ	ホタテ	ホタテ	ホタテ	ホタテ	ホタテ	ホタテ	ホタテ	ホタテ	ホタテ	ホタテ	ホタテ
	ホッキ	ホッキ	ホッキ	ホッキ	ホッキ	ホッキ	ホッキ	ホッキ	ホッキ	ホッキ	ホッキ	ホッキ
	エビ	エビ	エビ	エビ	エビ	エビ	エビ	エビ	エビ	エビ	エビ	エビ
	サケ	サケ	サケ	サケ	サケ	サケ	サケ	サケ	サケ	サケ	サケ	サケ
	スケトウダラ	スケトウダラ	スケトウダラ	スケトウダラ	スケトウダラ	スケトウダラ	スケトウダラ	スケトウダラ	スケトウダラ	スケトウダラ	スケトウダラ	スケトウダラ

出所) R6渡島の水産

●養殖の取組状況 (ホタテガイ養殖)



ホタテガイ中間育成



耳吊り作業



2年貝、3年貝の陸揚げ出荷

噴火湾産ホタテ貝
(森町ふるさと納税品にも活用)

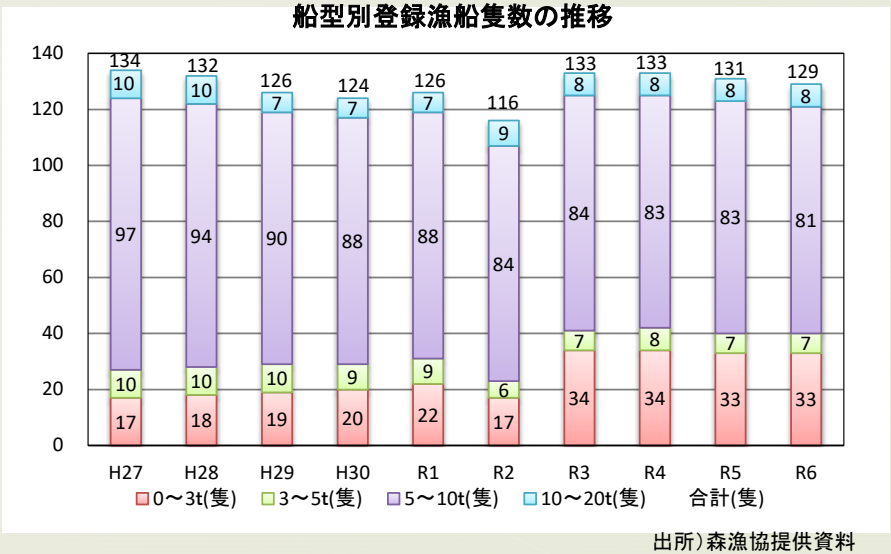
写真) 森町役場HP、YOU TUBE 森町公式チャンネル

噴火湾では主力のホタテガイ養殖業の他、イワシ・サケ定置網、カレイ刺網漁業、ツブ・エビかご漁業など、多種多様な漁業が行われている。近年、主力の養殖ホタテガイは年間1万トン程度の生産量を維持し、その生産額は6割以上を占めている。漁業者の高齢化が進み、60歳以上の漁業者が5割以上を占めている。

ホタテ養殖は森町の経済を支える基幹産業であり、ホタテ養殖の発祥の地のひとつとして、その技術力と生産量は全国でトップクラスを誇っている。町内の水産加工工場には多くの町民が従事し、町の雇用を支える柱となっている。近年では、ふるさと納税品としての活用や輸出の強化に向けて加工施設のハサップ認証取得の推進などによりアメリカや欧州など新たな市場開拓にも力を入れている。

(7) 森港の漁船利用状況

● 漁船隻数の推移



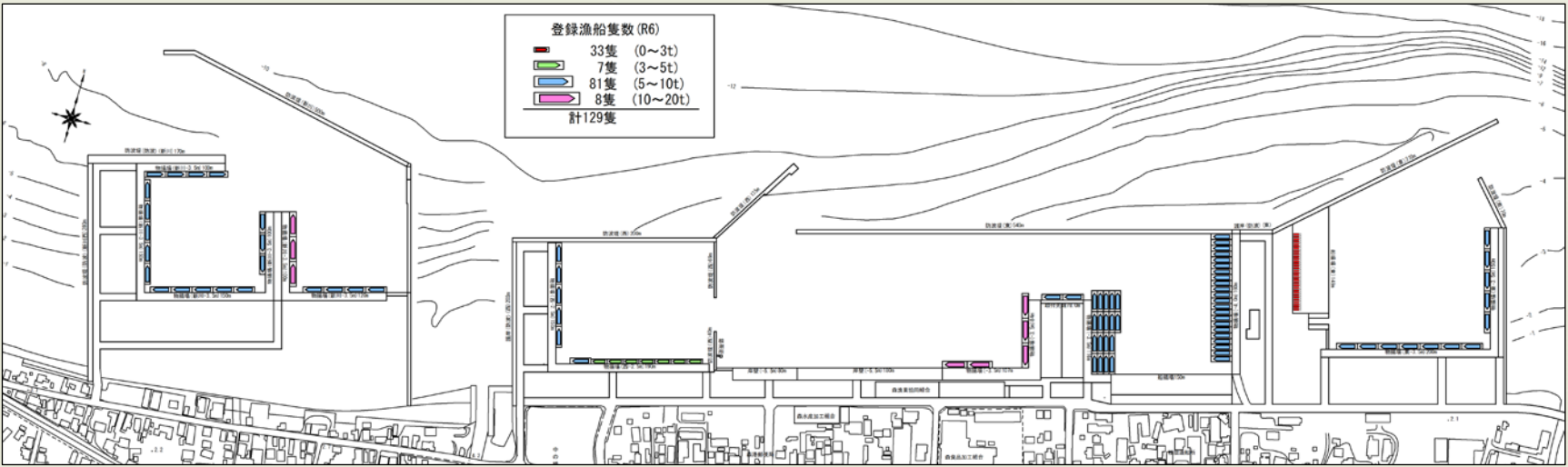
船型別登録漁船盛漁期主要魚種(R6)

船型	登録漁船隻数	主要魚種
0～3t未満	33隻	海藻類・ナマコ
3～5t未満	7隻	ホタテ、カレイ、イカ等
5～10t未満	81隻	ホタテ、カレイ、イカ等
10～20t未満	8隻	スケトウダラ、イワシ等
計	129隻	

出所) 森漁協提供資料

漁船隻数は、船揚場を利用する3t未満の船外機船においてR3年を境に増加に転じ、その後はほぼ横ばいで推移している。主力のホタテ漁業船の階層は3～10t未満船が多く、漁船隻数は横ばい傾向で推移している。

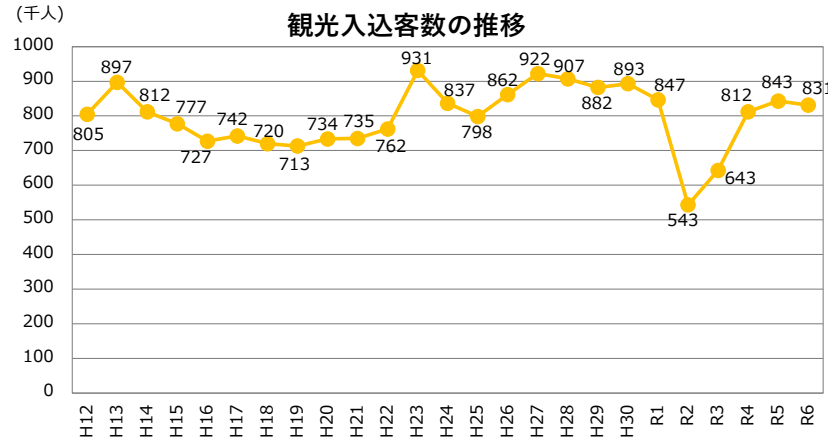
● 漁船の係留状況図(休憩時)R6年登録漁船隻数129隻



漁船の係留状況図

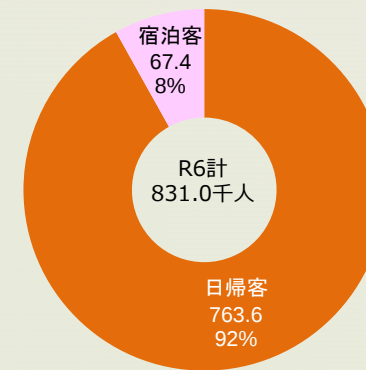
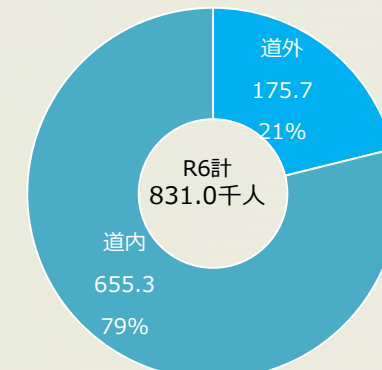
(8) 森町における観光の現状

●観光客数の推移

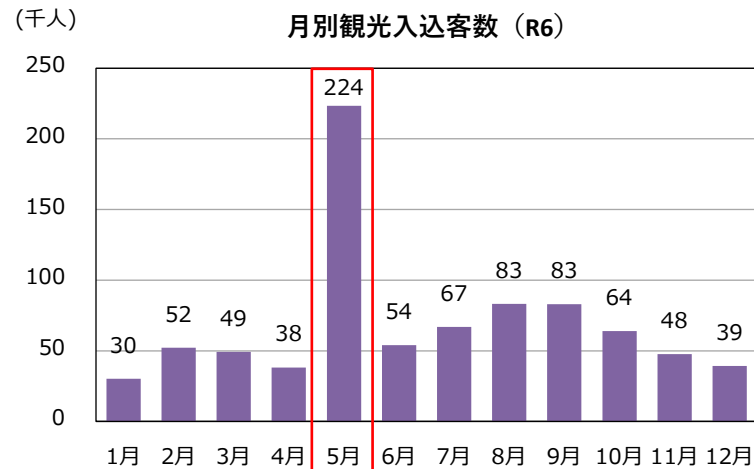


出所) 北海道観光入込客数調査報告書

●観光客の内訳

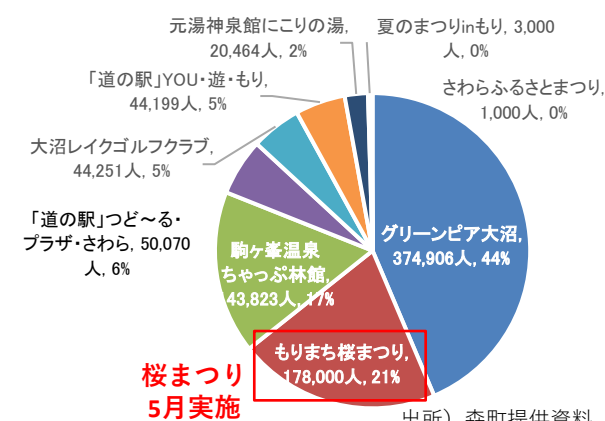
観光入込客数の内訳
(日帰り・宿泊別)観光入込客数の内訳
(道内・道外別)

出所) 北海道観光入込客数調査報告書



5月に集中 出所) 北海道観光入込客数調査報告書

日帰り客の目的地の内訳

桜まつり
5月実施

出所) 森町提供資料

出所) 森町提供資料

もりまち桜まつり名所



オニウシ公園



青葉ヶ丘公園

- ・観光入込客数はR2.3年コロナ禍で一旦落ち込んだが、現在はコロナ前の水準まで回復しつつある。
- ・函館圏に近接していることから、道内からの日帰り客が9割以上を占め、宿泊客は全体の1割程度に留まる。
- ・観光客は桜まつりのイベントがある5月に集中(約22万人)し、通年を通して3~8万人の入込みがある。

(9) 森蘭航路事業

●森蘭航路の運航実績及び参加人数

年	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
ツアー企画件数	8件	19件	20件	—	—	—	2件	2件	—	—
実績件数	1件	14件	11件	—	—	—	—	—	—	—
ツアー以外の運航	—	—	—	1件	—	—	1件	2件	—	—
参加人数	不明	397人	310人	6人	—	—	30人	不明	—	—
備考					運航無し	運航無し			運航無し	運航無し

※H28～R1までは「北海道新幹線×nittan地域戦略会議」が事業主体

※R2からは「森蘭航路推進協議会」が事業主体

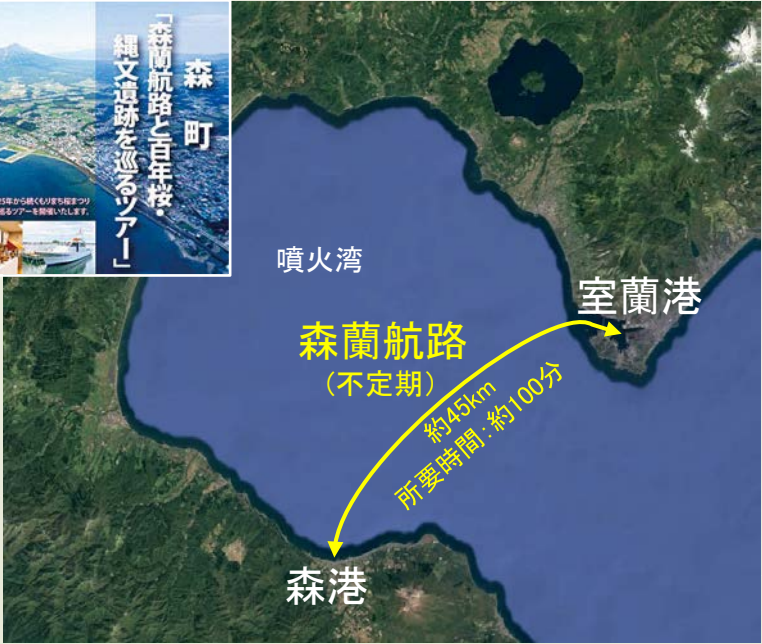
出所) 森町提供資料



旅客船ライジングドラゴン号（15GT、船長16m）



出所) 森町提供資料



料金	1隻チャーター（定員40名・片道） 240,000円
運航期間	4月～11月
運航時刻	日の出から日没までの希望時間
運航会社	スターマリン株式会社（室蘭市祝津町）

出所) スターマリン(株)HP

平成28年より森港と室蘭港を結ぶ「森蘭航路クルーズ」が開設され、祭りや北海道新幹線と連携したツアーが企画・運航された。近年はコロナ禍を境に利用が低迷しているほか、運航する船舶が小さいことから、悪天候により欠航となりやすく、新規ツアーの開拓に向けた課題となっている。

(10) 既存施設の老朽化状況



令和8年度 森町港湾審議会
事務局 森町水産課

